

済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	橈骨遠位端骨折術後の患者サービス向上に向けての取り組み 第44回済生会フォーラム
当院の研究責任者	リハビリテーション課 福浦正樹、高橋葵
他の研究機関および各施設の研究責任者	特にありません
本研究の目的	橈骨遠位端骨折患者に対して作業療法を早期介入したことにより手指拘縮の改善期間が短縮したことを受け、更なる患者サービス向上に向け橈骨遠位端骨折術後のプロトコル、自主練習パンフレットを作成し、定量的評価であるHand20を使用し回復過程のフィードバック行っています。その取り組みに対してアンケートを行い今後の患者サービスに繋げていきます。
調査データ 該当期間	2016年4月から2019年9月末日
研究の方法 (使用する資料等)	上記期間内に済生会松阪総合病院で橈骨遠位端骨折によるプレート固定術を受けられた方の年齢、性別、治療経過、作業療法評価、アンケート調査をさせていただきます。
試料・情報の 他の医療機関への提供	特にありません。
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報に個人を特定できる情報は削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。
本研究に係る資金 (利益相反)	特にありません。
お問合せ先	0598-51-2626 リハビリテーション課 福浦正樹、高橋葵